

基本的な考え方

- ◎ 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を挟む6年間であることを意識した目標とする。
- ◎ 世界一の都市・東京を支える都立の高等教育機関としてのプレゼンスを高める。

第二期の評価

順調に成果を挙げている

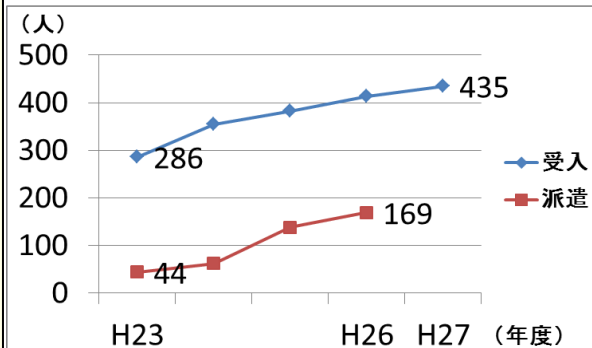
(平成27年評価委員会)  
※ 二期:平成23年度～28年度

■教育・研究の改革推進

- 能動的学習の推進
- 産業界のニーズを反映した教育プログラムの展開

■国際化を強力に推進

- 受入・派遣留学生数の増加



- 国際交流協定締結件数の増加  
H23 26件 ⇒ H26 115件

■都との連携等による社会貢献

- 総合防災プロジェクトの取組

取り組むべき課題

プレゼンスの強化

- 良質な教育・研究が知られていない
- 都立であることが知られていない

■特色を明確にし、教育研究の成果を広く国内外へ発信

育成する人材像や、他の高等教育機関と異なる特色を明確にし、教育研究の成果を広く国内外へ発信していくことが必要

■中長期的視点から運営基盤を強化

教育研究等の様々な取組を支えるため、組織の見直しも含め、ヒト・モノ・カネに代表される基盤の強化が必要

■都立の高等教育機関であるという特色を最大限に発揮

オリンピック・パラリンピックに関連した教育研究成果の還元など、都政の重要課題への更なる貢献が必要

第三期中期目標骨子

各教育機関がそれぞれの強みの明確化・重点化を図り、教育研究や社会貢献等を通じたプレゼンスの強化を戦略的に取り組む

■グローバルな大都市課題を解決する人材の育成・輩出と、卓越した研究の推進

- 時代が求める人材を輩出するとともに、教育の内容や成果を広く社会に発信
  - ・豊かな教養を身に付ける教育、新たな人材需要に対応(情報セキュリティ人材、航空技術者)
- 基礎研究の深化と課題解決型先端研究の推進により、研究成果を社会へ発信
  - ・防災や環境など都市課題に関する研究の推進

■変化し続ける社会への的確な対応と、それを支える運営基盤の強化

- 将来を見据えた首都大学東京の学部再編
  - ・分かりやすい学部名称にするとともに、教育・研究力を強化
- 経営資源の効果的・効率的な活用
  - ・キャンパス全体の整備・活用に関する構想、中長期的な財政運営の在り方確立

■都が設立した高等教育機関ならではの教育研究を推進し、東京の未来へ貢献

- オリンピック・パラリンピックへ向けた取組
  - ・学生ボランティア活動への支援強化、大学の知の還元によるイノベーションの創出
- 東京国際金融センター構想実現に向けた高度金融専門人材の養成
- 国際化を加速し、都市外交をバックアップ
  - ・知日派人材ネットワークの形成、姉妹友好都市などの大学との連携

今後の予定

- 平成28年 3月下旬～4月上旬 東京都地方独立行政法人評価委員会 公立大学分科会で中期目標案を説明、意見聴取
- 平成28年 4月下旬 東京都地方独立行政法人評価委員会に意見聴取 並行して、公立大学法人首都大学東京に意見聴取
- 平成28年 6月 都議会(第二回定例会)に付議 → 議決後に法人へ通知 → 法人が中期計画を策定